

三豊市地域包括支援センター等運営協議会

日 時 平成28年5月26日(木) 15:00~16:00

場 所 三豊市危機管理センター3階302会議室

1. あいさつ

2. 協議事項等

- ① 平成27年度事業報告について
- ② 平成27年度決算(見込み)について
- ③ 平成28年度事業計画について
- ④ 平成28年度予算について

3. 報告事項

- ① 平成28年度認知症施策実施計画について
- ② 地域密着型サービス事業者の指定について

4. その他

出席委員 仁井 昌彦 宮寄 信男 前田 昭文 植岡 澤江 藤村 仁美
安藤 未子 西山 正広 関 秀樹 岡田 武資 斉藤 幸江
高橋 珠子 文野 三嗣

欠席委員 上村 正徳 井下 充利 木村 啓介

事務局 健康福祉部部长 森 課長 三好 課長補佐 岡田
竹安 渡邊 安藤 藤田 細川 貞廣

傍聴者 0名

三豊市地域包括支援センター等運営協議会委員名簿

(任期：平成26年4月1日～平成29年3月31日)

(順不同、敬称略)

番号	役職名	氏名
1	三豊・観音寺市医師会	仁井 昌彦
2	三豊歯科医師会	宮寄 信男
3	三豊市民生委員児童委員協議会連合会 会長	前田 昭文
4	三豊市老人クラブ連合会 会長	上村 正徳
5	三豊市婦人団体連絡協議会 会長	植岡 澤江
6	四国学院大学専門学校 福祉学科長	藤村 仁美
7	香川県栄養士会	安藤 末子
8	三豊地区地域リハビリテーション支援センター	木村 啓介
9	香川県西讃保健福祉事務所 所長 (H28.4.1変更)	井下 充利
10	三豊市社会福祉協議会 事務局長	西山 正広
11	三豊市社会福祉協議会 地域福祉推進課長	関 秀樹
12	株式会社せとうち福祉サービス 代表取締役	岡田 武資
13	医療法人社団和風会 橋本病院 橋本病院指定居宅介護支援事業所 所長	斉藤 幸江
14	社会福祉法人宝壽会 介護老人保健施設宝壽苑 管理者	高橋 珠子
15	社会福祉法人豊中福祉会 特別養護老人ホームとよなか荘施設長	文野 三嗣

議事録

1. あいさつ	
事務局	<p>みなさんこんにちは。本日はお忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。運営協議会庶務担当の竹安と申します。宮崎委員さん、植岡委員さん、木村委員さんがお見えではありませんが、定刻が参りましたので、只今から三豊市地域包括支援センター等運営協議会を開催させていただきます。最初に、当協議会委員の変更についてご報告いたします。香川県西讃保健福祉事務所 所長 浦野様の人事異動に伴い後任の井下 充利様が新委員として委嘱されました。なお上村委員さん、井下委員さんおかれましては、他の会議のため欠席の連絡をいただいておりますので、併せてご報告申し上げます。</p>
事務局	<p>ここで本日の委員の出席状況を確認します。委員総数15名のうち、出席委員現在10名、委員の半数以上の出席を得ておりますので、三豊市地域包括支援センター等運営協議会設置条例第6条第2項の規定により、会議の開催要件を満たしていることを報告いたします。</p> <p>なお、会議に先立ちまして、今回の会議につきましては議事録を作成いたします。議事録については、三豊市の附属機関等の会議の公開に関する指針第10条及び第11条の規定において原則公開いたしますので、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。また、同指針第3条の規程により附属機関等の会議は公開とするものとしており、傍聴者の受付をしたところ現在無しとなっておりますので、併せてご報告申し上げます。</p>
事務局	<p>それでは開会にあたり、仁井会長よりごあいさつをお願いします。</p>
会長	<p>そろそろ梅雨の時期になりますが、三豊市地域包括支援センター等運営協議会ということで一時間半くらい、宜しくお願いします。介護保険は2000年に始まり、充実してきております。三豊市に置かれましても包括支援センターを中心に政策を進めてきましたが、南部高齢者サポートセンターとして新しくランチを設置しました。これから先の要支援などいろいろ変わっている状況などをみなさん知っていただき、これからどう進めていくか、というご意見をいただけたらと思います。</p>
事務局	<p>有難うございました。続きまして、健康福祉部長 森諭よりごあいさつ申し上げます。</p>
部長	<p>皆さん、こんにちは。本日は三豊市地域包括支援センター等運営協議会に大変お忙しい中、ご出席いただきまして有難うございます。本来ですと、横山市長が参りまして皆様方に最初のご挨拶を申し上げるところでございますが、あいにく他の公務と重なりまして、私が代わりに出席したということになります。合併して10周年を迎えましたが、皆様方にはそれぞれの立場でご活躍いただき、三豊市のまちづくりのためにご尽力を賜っておりますこと、心より感謝いたします。地域包括支援センターにおきましても平成18年4月発足以来、三豊市同様に10周年を迎えました。この期間、委員の皆様方に本当にお世話になり、ありがたく思っているところでございます。また、昨年6月に当協議会より「地域包括支援センターの増設について」答申いただきました内容を検討し、4月より財田町国保高齢者保健福祉支援センター内に山本・財田地区の市民の皆様にとりまして、より身近な機関として相談・利用いただけるように「南部高齢者サポート」を設置いたしました。国のほうでも、「団塊の世代」が後期高齢者となる2025年に向け、「地域包括支援センターの機能強化」、「地域包括ケアシステムの構築」を提唱しております。三豊市としても、この地域包括支援センターが、ますます充実するよう皆様方と共に進めて参りたいと思っております。大変お忙しい中ではありますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>

事務局	<p>なお、三豊市地域包括支援センター等運営協議会設置条例第5条第2項によりまして、会長の方で議事を進めていただくことになっておりますので、よろしくお願ひします。</p>
2. 協議事項	
①平成27年度事業報告について	
会長	<p>では、運営協議会としての議事を進めさせていただきたいと思ひます。レジュメをお渡ししてありますので、レジュメに沿って進めていきたいと思ひます。平成27年度事業報告について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料・パワーポイントに基づき説明) それでは、平成27年度事業報告について説明します。まず、三豊市の概況ですが、平成28年4月1日現在での三豊市の総人口は67,883人で、65歳以上人口が占める割合が33.7%となっており、高齢者人口の割合が増えてきています。人口の推移では合併当初は約70,000人でしたが、減少の一途をたどり、高齢化率は上昇しています。一方、要介護認定者の数は4,216人となり、1号被保険者の割合は18.4%となっています。これは香川県の平均が19.3%ですので、やや低くはなっておりますが、毎年増加しており、それにつれて給付費の方も増加してきています。ここ6年で約16億円増加しています。今後ますます介護予防が重要になってくると思われまふ。三豊市の機構ですが、みなさんご存じの通り、地域包括支援センターは介護保険課の中に設置されています。また、今年4月から財田の中に南部高齢者サポートが設置されました。次に職員構成ですが、保健師や社会福祉士や看護師などの専門職と事務職合わせて3月31日時点で17名おります。</p>
事務局	<p>1、地域包括支援センター職員構成 2、地域包括支援センター事業実績 [1]介護予防事業 (1)一次予防事業 65歳以上の方は誰でも参加できる事業として実施 ①遊ビリテーション ゴムバンド体操やストレッチを通して、転倒予防や体力の維持・向上を図る。 ②脳きり教室 認知症を正しく理解し、早期の正しい対応や予防について学習する。シナプソロジーは頭を使いながら体を使うことで認知症予防に繋がる。 ③足裏元気プロジェクト 足の裏や指の機能を高め、姿勢矯正や転倒予防を図る。4カ月間の10回コースで117名が参加。 ④その他 ・介護予防講演会「認知症予防 最前線」 ・地域小集団支援健康教育:老人会や自治会などからの要望による出前講座</p>
事務局	<p>⑤介護サポーター養成事業 地域での高齢者見守りやサロン活動など介護予防を担う人材育成と高齢者の生活を支える地域づくりを担う人材育成のための講座。 ⑥介護予防サポーターフォローアップ研修 介護予防サポーターの再教育、情報交換、27年度は介護予防ボランティア養成講座実施。 県の補助金を活用して、高齢者声かけ見守り事業と高齢者居場所づくり事業を実施。 ・高齢者声かけ見守り事業は2人1組で一週間に1回以上活動。依頼のあった高齢者の自宅訪問をして安否確認や相談を受けている。社会福祉協議会に委託して補助金を交付している。 24年度から取組を開始し、声かけ見守り事業は27年度には11団体となり、居場所づくり事業は財田のコスモスを加えて4団体と少しずつ広がっている。</p>

事務局	<p>⑦認知症サポーター養成事業 認知症患者とその家族を地域の中で支える人材の育成 県の講習を受けたキャラバンメイトが市内各地で講座を行っている。三豊警察署向けや市の窓口職員向けも実施。平成27年度は33回、1,007名の方が参加。</p>
事務局	<p>(2)二次予防事業 ・基本チェックリストを要介護認定を受けていない65歳以上に配布している。その結果に基づき対象者を選定して、元気アップ教室や歯っぴー教室の案内をする。自力で通えない方に対しては介護施設に送迎も委託して、運動・口腔・栄養の講座を行っている。 ・266名が参加。 ・元気アップ教室終了後の事業評価としては参加者の9割程度が向上または現状維持。半数の方がチェックリストの元気高齢者に向上している。 ・歯っぴー教室も同様に6割が向上。3割の方は維持。 この二次予防事業は27年度で廃止となります。</p>
事務局	<p>[2]包括的支援事業 (1)総合相談支援事業 ・総合相談の平成27年度の年間延べ件数は1,866件であり、そのうち認知症に関する相談は延べ166件あった。 ・認知症高齢者は、書類の管理や手続ができなくなったり、お金の支払ができなくなったり、悪徳商法に騙される等生活そのものが難しくなる。認知症高齢者を守る制度として、日常生活自立支援事業と成年後見制度がある。日常生活自立支援事業とは判断能力が不十分になり、日常的な金銭管理や福祉サービスの利用手続が自分では行えなくなった人を支援する制度。本人が社会福祉協議会と契約して行っている。成年後見制度とは認知症や障害などの理由で判断能力が低下した人の権利や財産を法的に支援する制度である。 (2)権利擁護等 ・高齢者の家族や介護など生活上の問題について、権利擁護の相談事業を訪問などで行っている。相談内容が複雑なケースが増加している。 ・成年後見人の市長申し立ての件数が年々増加。 (3)包括的・継続的ケアマネジメント業務 ・介護支援専門員研修会 (4)地域ケア会議 個別会議を平成26年度から開始。代表者会議を2回、個別会議を10回実施。 ・ケアマネージャーから相談を受けた事例を地域の民生委員や自治会長らにも参加いただき話し合った。個別会議であがった地域の課題を代表者会議で話し合った。</p>

事務局	<p>最後に予防給付ケアマネジメント事業です。これは、地域包括支援センターの重要な事業のひとつです。これは要支援1、2の認定者にケアマネージャー、保健師等が訪問をして、介護予防のケアプランを作り、予防給付のサービスをマネジメントするものです。認定者が増えてきているため、年々増加の傾向にあります。資料7ページをご覧ください。27年度から始まった事業です。</p> <p>(5)生活支援体制整備事業</p> <p>①生活支援コーディネーターの配置 生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進、担い手の養成や活動の場の確保 三豊市社会福祉協議会に委託</p> <p>②協議体の設置 多様な主体間の情報共有・連携・協働による生活支援・介護予防サービスの体制整備を実施。</p> <p>(6)認知症総合支援事業</p> <p>①認知症初期集中支援事業 認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築。</p> <p>②認知症地域支援推進員の配置(包括職員6名) 認知症の人やその家族等からの相談支援、認知症サポーター養成講座の開催とキャラバンメイトの育成</p> <p>③認知症地域支援推進員の配置 行方不明の徘徊高齢者等の早期発見のため、関係機関との協力体制を構築 徘徊高齢者等の安全の確保とその家族への支援</p> <p>(7)在宅医療・介護連携推進事業 在宅医療と介護を一体的に提供するため医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進 平成27年度の事業報告は以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。このようにご説明いただくとたくさんの事業をしていると感じますね。何か質問などありますか。</p>
一同	<p>(なし)</p>
会長	<p>包括支援センターの概略を説明していただきましたが、高齢者の比率が大きくなっていますね。三豊市の包括支援センターは直営事業ですよ。県下で直営でやっている包括は？</p>
事務局	<p>観音寺市と多度津町以外です。</p>
会長	<p>香川はこのような状況ですね。いろんなメリット・デメリットありますが、行政が高齢者等の意見をダイレクトに上手く吸い上げられたらと思います。それとたくさんの事業がありますが、一覧でまとめたらわかりやすかったかな。一次予防は悪くならない、二次予防はこれ以上悪くならないということですが、これからも頑張っていたらと思います。そしたら事業や包括支援センターですが、お金が必要ということでそれを裏付ける予算の説明をお願いします。</p>
②平成27年度決算(見込み)について	
会長	<p>それでは、平成27年度の事業報告まで終わりましたので、次に平成27年度の決算について報告をお願いします。</p>

事務局	<p>それでは、平成27年度三豊市介護保険事業特別会計歳入歳出決算見込みについて説明させていただきます。 (資料9～13ページより説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援事業交付対象経費は117,253,212円 ・交付金の対象とならない経費として、軽自動車の公課費やシステムの管理費が含まれており、一般会計から繰り入れている。 ・償還金とは国、県、支払基金の補助金の額が介護保険法により負担割合が決まっており、支出見込みにより交付された交付金の精算は翌年となるため、前年度分の交付金の返還がある。
事務局	<p>次に、平成27年度三豊市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算書の方に移らせていただきます。先程岡田課長補佐から説明がありましたように、地域包括支援センターの中には三豊市地域包括支援センター運営規程で定めている通り事業所としての機能を有しています。資料8ページの予防給付ケアマネジメント事業として、要支援1と要支援2の方のケアマネジメントを行う事業所があります。この事業については、介護サービス事業特別会計の中で予算化しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランの作成についてはすべての要支援者のプランを地域包括支援センターで行うわけではなく、事業所に一部委託が可能という規程がある。
会長	<p>何か質問はありますか。もう少し大まかなところをいきたいと思いますが、三豊市の全体の事業費はいくらですか。</p>
事務局	<p>全体の介護保険の事業費は73億です。そのうちの8割は給付費です。</p>
会長	<p>73億のうち1億を地域支援事業に充てているということですね。</p>
③平成28年度事業計画について	
会長	<p>では27年度の報告が終わりまして、28年度の包括支援センターの事業はどのようなのか、平成28年度の事業計画の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、平成28年度の三豊市地域包括支援センター事業計画について説明します。17ページをご覧ください。(資料17ページより説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員構成:南部包括を含め18名。 <p>(1)総合事業は今年度より開始</p> <p>①介護予防・生活支援サービス事業</p> <p>②一般介護予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みとよ元気運動塾では市制10周年ということもあり三豊市の歌に振付を付けた誰でもできる体操を考案。DVDを作成して、その体操を普及したい。 <p>(2)包括的支援事業・任意事業</p> <p>新規事業として、高齢者等徘徊SOSネットワーク事業および高齢者あんしん見守りネットワーク推進業務。</p> <p>その他の事業は昨年と同様。</p>
会長	<p>ありがとうございます。相談事業としては平成27年度内に山本・財田で1カ月平均何件ありましたか。</p>

事務局	平成27年度は1カ月、約40件です。山本・財田の方のほとんどの方が南部高齢者サポートに行っています。地域にあるから小回りも効いていますし、提供も近くなりました。
会長	斉藤さんは山本町でご尽力いただいておりますが、実際どのように感じますか。
斉藤委員	南部高齢者サポートに不安がある等、相談したらすぐ対応してくれるし、狭い地域だから名前だけですぐどなたのことかわかるから心強いです。
会長	地域に根差したケアマネですね。
事務局	去年の件数と比べると増えているというよりは南部に移ったという形ですね。距離が近くなった分、個人との不便はなくなりましたが、本庁との不便はあります。
会長	新しい事業の高齢者等徘徊SOSネットワーク事業と高齢者あんしん見守りネットワーク推進事業は予定として進んでいきつつありますか。
事務局	高齢者等徘徊SOSネットワークに関しては警察との協議済みで、要綱ができ次第、協力員の登録を進めて行くという状況です。高齢者あんしん見守りネットワーク事業は各団体等と協定を順次、結んでいく予定です。
会長	こういう事業は市をあげてしないと地域包括支援センターだけでは難しいですね。関係機関や地域住民の方々もご協力いただくということも考えていただけたらいいかな、と思います。
④平成28年度予算について	
会長	では、予算をお願いします。
事務局	では平成28年度三豊市介護保険事業特別会計歳入歳出予算書を説明させていただきます。平成28年度より新しい介護予防・日常生活支援総合事業に実施に伴いまして特別会計の地域支援事業に事業費が移行した形となります。(資料20～27ページを説明)
岡田委員	質問ですが、27年度より28年度の歳入、保険料が約4000万円増えていますが、地域支援事業交付金対象経費の22パーセントは変わっていません。これはどういうことでしょうか。住民の介護保険料が増えるということですか。減るということですか。
事務局	歳入の保険料増額に関しては、総合事業に移行したので、それに伴って事業費も移行したものです。地域支援事業交付金対象経費の22パーセントに関しては介護給付費・地域支援事業の総額に対する割合であり、介護給付費の一部が地域支援事業費に移行したもので22パーセントの割合は変わりません。なお、介護保険料は29年度までは変わりません。
3.報告事項	
①平成28年度認知症施策実施計画について	
会長	では平成28年度認知症施策実施計画についてお願いします。
事務局	はじめに、話も煮詰まってきましたので、ここで「七宝の風」の体操をご覧ください。ゆっくりしたストレッチバージョンとよさこいバージョンがあります。(DVDを流す)住民参加のDVDを作成し、サロンなどで使おうかと考えています。
会長	1曲何分ですか。

事務局	1曲3,4分で3番まであります。
岡田委員	デイサービスにも使えるかもしれないですね。
事務局	では資料29ページをご覧ください。(資料29ページの説明) 【普及啓発事業】 ①かがわ認知症予防月間②認知症サポーター養成講座③講演会の開催 【認知症初期集中支援事業】 西香川病院・認知症疾患医療センターへ委託 【認知症地域支援・ケア向上事業】 認知症カフェ等の取り組みの整備など
事務局	続けて、資料30～34ページをご覧ください。(資料30～34ページ、認知症初期集中支援事業の実施状況について説明)
会長	何かご質問はありますか。だいたい6カ月の集中支援ということですね。
②地域密着型サービス事業者の指定について	
会長	次に地域密着型サービス事業所の指定等についてに移らせていただきます。
事務局	地域密着型サービス事業所の指定等について説明させていただきます。(資料35ページに基づき説明) 【変更・報告事項】 ・せとうち福祉サービス夜間訪問看護部:指定更新平成28年3月19日 ・せとうちリビングホーム:新規指定平成28年4月1日 * 特定施設入居者生活介護・・・有料老人ホームが介護特定施設として指定を受け、日常生活上の支援や機能訓練などが提供できる施設
会長	新規申請、更新申請についてご説明ありましたが、そういうことでこの運営協議会で承認いただけたらと思います。よろしいでしょうか。
一同	(異議なし)
会長	その他、なにかご意見などないでしょうか。
一同	(なし)
3. その他	
会長	それではその他に移りたいと思いますが、事務局から何かありますでしょうか。
事務局	「地域支援センター」の北部、詫間地区への増設につきましては、詫間支所周辺の「公共施設再配置計画」は、検討中の段階であります。まず、南部を充実させ、一つの見本にできるように進めて行き、その間に南部の問題点などを検討し、北部設置に向け進めたいと考えています。ご理解をお願いいたします。
会長	市の全体の計画等がありまして、少し遅れているという状況ですね。その他、何かある方はいらっしゃいますか。
一同	(なし)

事務局	<p>それでは、閉会にあたりまして、介護保険課長 三好 政広 よりご挨拶申し上げます。</p>
課長	<p>失礼します。本日は、大変お忙しい中、貴重な時間をいただき、ご審議いただきまして、有難うございました。昨年、当協議会より、答申いただきました「地域包括支援センターの増設について」、先程、岡田課長補佐よりご報告申しあげましたとおり、4月1日より財田地域に「南部高齢者サポート」として配置し、活動しております。今後、地域住民の方の身近な相談、支援の場所となるよう、活動してまいります。</p> <p>また、ご覧いただいた三豊市の歌「七宝のかぜ」に合わせた元気体操や高齢者対策事業として、一人暮らし高齢者見守りネットワーク事業や徘徊SOS事業に取り組んでまいります。</p> <p>誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らせる町づくりを目指して、各種事業を展開してまいりますので、今度とも委員、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが、閉会の挨拶といたします。本日はどうも有難うございました。</p>
閉会	